



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名 日本梱包運輸倉庫株式会社
 コード番号 9072 URL <http://www.nikkon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 黒岩 正勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 森田 泰典
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3541-5331

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	104,863	10.6	10,239	56.2	11,544	69.2	6,792	88.4
24年3月期第3四半期	94,811	1.7	6,556	△7.9	6,823	△9.7	3,606	△18.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 7,180百万円 (482.2%) 24年3月期第3四半期 1,233百万円 (△60.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	97.54	97.37
24年3月期第3四半期	51.78	51.74

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
25年3月期第3四半期	183,221		132,005		72.0	
24年3月期	187,137		126,581		67.6	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 131,831百万円 24年3月期 126,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	14.00	22.00
25年3月期	—	12.00	—		
25年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	137,000	4.8	12,000	17.8	12,800	13.6	7,800	27.6	112.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	74,239,892 株	24年3月期	74,239,892 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	4,600,948 株	24年3月期	4,600,619 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	69,639,015 株	24年3月期3Q	69,647,712 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付書類)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業務予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要や堅調な個人消費に支えられ、回復の兆しが見られましたが、欧州債務危機問題や新興国経済の減速などにより先行き不透明な状況が続いております。

当物流業界におきましては、震災からの復旧に伴い貨物取扱量は回復してまいりましたが、電気料金の値上げや円安による燃料価格の上昇等、コスト増加が懸念され、経営環境はより一層厳しくなることが予想されます。

このような状況下、当社グループにおきましては主要顧客である自動車業界の生産・販売が回復したことに加え、エコカー補助金等の政策効果や復興需要もあり、売上高は1,048億63百万円と前年同期比10.6%の増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の増加や業務の効率化を推進した結果、前年同期比56.2%増の102億39百万円となりました。

経常利益につきましては、115億44百万円と前年同期比69.2%の増加となりました。その要因といたしましては、営業外収益が持分法による投資利益の増加や営業所設備移設や福島原発事故による受取補償金、為替差益などにより前年同期比47.8%増の15億15百万円となり、営業外費用が投資有価証券評価損や支払利息の減少などにより前年同期比72.2%減の2億10百万円となったことによるものであります。

この結果、四半期純利益につきましては、前年同期比88.4%増の67億92百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 運送事業

エコカー補助金の効果などにより、当社グループの主要顧客である自動車業界の貨物取扱量が回復したことや、中越テック(株)及び札幌新聞輸送(株)の2社が当期から決算期を12月から3月に変更したことに伴い、当第3四半期連結累計期間において12ヶ月分の財務諸表を連結したことなどにより、売上高は前年同期比11.0%増の528億71百万円となりました。営業利益は、増収効果などにより前年同期比60.9%増の26億63百万円となりました。

② 倉庫事業

保管貨物量の回復や新規業務の獲得などにより、売上高は前年同期比13.9%増の153億6百万円となりました。営業利益は、保管効率の向上や固定費の削減などにより前年同期比23.1%増の39億48百万円となりました。

③ 梱包事業

当社グループの主要顧客である自動車業界の貨物取扱量が回復したことなどにより、売上高は前年同期比8.4%増の251億26百万円となりました。営業利益は、売上高の増加や業務の効率化などにより前年同期比137.0%増の21億93百万円となりました。

④ テスト事業

業務量の回復や新規業務の獲得により、売上高は前年同期比21.9%増の78億40百万円となりました。営業利益は、従業員の増員に伴う人件費の増加等がありましたが、増収効果により前年同期比162.4%増の7億11百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は484億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億57百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が43億91百万円、受取手形及び売掛金が18億45百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,347億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億41百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が13億39百万円、投資有価証券が2億44百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,832億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億15百万円減少いたしました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は283億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ163億87百万円減少いたしました。これは主に1年内償還予定の社債が100億円、支払手形及び買掛金が48億58百万円、短期借入金が30億92百万円減少し、電子記録債務が44億2百万円増加したことによるものであります。固定負債は228億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ70億47百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が71億円64百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は512億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ93億39百万円減少いたしました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,320億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億24百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が49億82百万円、為替換算調整勘定が4億17百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は72.0%（前連結会計年度末は67.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月9日に発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因により記載の予想の数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の連結グループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち、中越テック(株)、札幌新聞輸送(株)、日梱物流(中国)有限公司、NK BRASIL LOGISTICA LTDA. 及びNKP MEXICO, S.A. DE C.V.の決算日は12月31日とし、連結財務諸表の作成に当たっては同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行ってまいりました。この度、より実態に即した経営情報を把握するために、第1四半期連結会計期間より、決算日変更の対応が可能となった中越テック(株)及び札幌新聞輸送(株)について、決算日を3月31日に変更しております。これにより、中越テック(株)及び札幌新聞輸送(株)については、平成24年1月1日から平成24年12月31日までの財務諸表を連結しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が15億16百万円、営業利益が1億21百万円、経常利益が1億50百万円、税金等調整前四半期純利益が1億63百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,666	9,274
受取手形及び売掛金	27,089	25,243
有価証券	9,819	10,583
商品及び製品	10	19
原材料及び貯蔵品	475	447
繰延税金資産	1,469	1,245
その他	1,602	1,658
貸倒引当金	△14	△11
流動資産合計	54,119	48,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,240	38,048
機械装置及び運搬具（純額）	1,967	2,261
工具、器具及び備品（純額）	704	863
土地	61,943	62,659
リース資産（純額）	127	179
建設仮勘定	676	1,985
有形固定資産合計	104,659	105,998
無形固定資産		
投資その他の資産	1,435	1,613
投資有価証券	23,500	23,744
長期貸付金	128	132
繰延税金資産	1,650	1,657
その他	1,760	1,732
貸倒引当金	△115	△119
投資その他の資産合計	26,924	27,147
固定資産合計	133,018	134,760
資産合計	187,137	183,221

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,393	7,535
電子記録債務	—	4,402
短期借入金	7,180	4,087
1年内償還予定の社債	10,400	400
リース債務	59	59
未払法人税等	3,244	1,836
賞与引当金	2,485	1,256
役員賞与引当金	150	107
設備関係支払手形	627	736
その他	8,231	7,964
流動負債合計	44,773	28,385
固定負債		
社債	400	200
長期借入金	4,688	11,853
リース債務	70	102
繰延税金負債	4,124	4,086
退職給付引当金	5,289	5,465
役員退職慰労引当金	227	177
その他	980	944
固定負債合計	15,782	22,829
負債合計	60,555	51,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,316	11,316
資本剰余金	12,332	12,332
利益剰余金	103,773	108,755
自己株式	△6,136	△6,137
株主資本合計	121,285	126,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,134	7,105
為替換算調整勘定	△1,960	△1,542
その他の包括利益累計額合計	5,173	5,563
新株予約権	63	120
少数株主持分	58	54
純資産合計	126,581	132,005
負債純資産合計	187,137	183,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	94,811	104,863
売上原価	83,209	89,689
売上総利益	11,601	15,174
販売費及び一般管理費	5,045	4,935
営業利益	6,556	10,239
営業外収益		
受取利息	174	123
受取配当金	250	289
受取賃貸料	50	53
持分法による投資利益	145	249
受取補償金	—	173
為替差益	—	160
雑収入	403	466
営業外収益合計	1,025	1,515
営業外費用		
支払利息	259	154
為替差損	146	—
投資有価証券評価損	301	—
雑支出	49	56
営業外費用合計	757	210
経常利益	6,823	11,544
特別利益		
固定資産売却益	57	75
負ののれん発生益	235	2
特別利益合計	293	77
特別損失		
固定資産売却損	5	6
固定資産除却損	21	58
投資有価証券評価損	4	0
投資有価証券売却損	122	1
持分変動損失	7	—
災害による損失	139	—
厚生年金基金脱退拠出金	—	237
特別損失合計	300	304
税金等調整前四半期純利益	6,816	11,316
法人税等	3,266	4,523
少数株主損益調整前四半期純利益	3,549	6,793
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△56	0
四半期純利益	3,606	6,792

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,549	6,793
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,643	△28
為替換算調整勘定	△666	414
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	1
その他の包括利益合計	△2,316	387
四半期包括利益	1,233	7,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,286	7,182
少数株主に係る四半期包括利益	△53	△1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	47,649	13,439	23,170	6,433	90,693	4,117	94,811
セグメント間の内部 売上高又は振替高	134	219	370	2	727	809	1,536
計	47,784	13,659	23,540	6,435	91,420	4,927	96,348
セグメント利益	1,656	3,207	925	270	6,060	281	6,341

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,060
「その他」の区分の利益	281
その他の調整額(注)	215
四半期連結損益計算書の営業利益	6,556

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

連結子会社が当該会社の自己株式を取得したことにより、235百万円の負ののれん発生益を計上しております。報告セグメント別には、「運送事業」215百万円、「倉庫事業」9百万円及び「梱包事業」6百万円、ならびに「その他事業」4百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	52,871	15,306	25,126	7,840	101,145	3,718	104,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89	143	329	-	562	761	1,323
計	52,961	15,450	25,455	7,840	101,708	4,479	106,187
セグメント利益	2,663	3,948	2,193	711	9,516	521	10,038

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	9,516
「その他」の区分の利益	521
その他の調整額(注)	201
四半期連結損益計算書の営業利益	10,239

（注）その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。